



▲第32回定期大会の様子

第32回秋田県本部定期総会が、7月24日（土）秋田市文化会館で開かれました。「コロナ禍」対策で、昨年と同様参加人数、開会時間を縮小し、午後1時30分～3時50分まで行われました。県役員と支部代表の30名が参加しました。

第32回県本部定期総会（県大会）開かる

総会は、高田博副会長が開会宣言し、この一年で亡くなった7名の会員、病気で「退会」していた元会員2名、および治安維持法犠牲者に黙とうを捧げました。議長には遠藤嘉恵副会長、伊藤達男事務局次長が就きました。来賓の共産党県委員会副委員長加賀屋千鶴子県議【写真】がご挨拶しました。加賀屋さんは、自民党推薦の知事までがコロナ禍での「オリンピック」の強行を批判していることや、来る総選挙・地方選挙へ支持・支援を訴えました。つづいて本部の増本一彦会長の「ごあいさつ」を佐



藤清一常任理事が代読し紹介しました。最上健造会長が「報告と提案」を行いました（次回「号外」）。藤田精士事務局長が「財政報告」、佐藤昭監査委員が「会計監査報告」を行いました。遠藤副会長が「役員推薦



【秋田県版】
No. 362
2021年8月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

発行人：田中幹夫
〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4

秋田県本部

〒014-1413
秋田県大仙市角間川町
字東中上町27
最上健造 方

TEL&FAX
0187-65-2115

同盟運動の目的

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 1、国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
 - 2、国は、治安維持法犠牲者に謝罪し、賠償を行うこと
 - 3、国は、治安維持法による犠牲者の実態を調査し、その内容を公表すること

寄稿

棚橋貞雄のいよとよも (その5)
～勝子の没後の貞雄～

棚橋 正博

昭和八年(1933)十月四日に棚橋勝子は三十四歳の若さで亡くなる。

一方、棚橋貞雄は三・一五事件(昭和三年、1928)で検束され、懲役三年で保釈される。その後の貞雄の足跡の詳細は知らない。現在のフジサンケイグループの創始者で転向声明第一号を発表した水野茂夫に続くようにして転向したと聞かされているが、獄中で発明した温度計の特許などを、どう活用し実業世界と関係を持ったのかは皆目分らない。

知られる限り、貞雄の釈放後の足跡を追ってみたいのだが、いかんせん私の父親の正雄が特高警察怖さで

新潟へ逃避行して貞雄と同居していなかったわけなので、この頃の貞雄の動静を正雄からは聞くことがなかった。

釈放直後のこと、貞雄が帰郷すると秋田駅の駅頭で大歓迎を受けたという話は耳にするのだが、抵抗者としての凱旋というわけでもなく、「赤の親玉」(この言葉が貞雄に冠して語られたことは私も体験している)こと棚橋貞雄が、水野成夫に続いて転向したということとで、搾取に明け暮れていた地主階層や秋田の実業界の面々の歓迎であって、日本共産党などの改革思想の人たちも歓迎する呉越同舟であったような気もする。

貞雄は勝子の献身的な看病を得て一年余で回復したであろう。勝子の経営する病院も医師のスタッフが増えて病院の規模も大きくなっていたと聞いている。その勝子が一年後あたりから貞雄に代わって療養生活に入ることには前回書いた。

森林事業にかねて着目していた貞雄は、体力が回復すると秋田木材通信社の経営に参加する(着手したのか)。弟の義雄に通信社の記者をさせるなど、勝子が亡くなる前後には木材事業に深く関わりを持ち始めたと思われる。勝子が貞雄のそうした動向について賛否どちらであったか分からない。ただ、勝子は亡くなるまで秋田の共産党組織の再建と活動家援護のために尽力し、亡くなると秋田農民組合に結集していた仲間たちから追慕の黙祷を捧げられたということなので、終生医療と組織活動を支持し

ていたと考えるとよからう。勝子の姑でもある棚橋タマ(私の祖母)は亡くなるまで三浦雷太郎支持で、勝子同様、節を曲げていないところを見ると、勝子没後暫くは貞雄も実業世界と、かつての組織とのほざまで迷っていた時代かも知れない。しかし、貞雄の父友三郎の死(昭和十一年、1936)があつて、勝子が「再婚をしないで欲しい」と言い残していたにもかかわらず、病院の眼科医だった相馬キヨと再婚するあたりで、貞雄の新たな軌道が決まったようである。

再度、貞雄が衆議院議員選挙に立つことを考え出したのも、この頃のことであろうか。土崎港町がまだ秋田市と合併する以前のことであり、貞雄は選挙に向けて外旭川村の石油事業(八橋油田等)と林業の両睨みで、外旭川村に急接近する新たな動きをする。(つづく)

名簿」を説明報告しました。

◆ ◆ ◆

発言は、時間の関係で4人でした。(発言テーマは編集部)

▼糸田忠恒(大館鹿角支部部副会長)「コロナ禍に便乗する憲法改悪許さない」

▼加賀繁(能代山本支部会長)「土地利用制限法の学習会について」

▼松山正一(能代山本支部事務局員)「学習会と会員拡大の重要性」

2021年度「秋田県本部役員」(敬称略)

常任理事
大館鹿角 糸田 恒忠
鷹巣阿仁 成田 元晴
能代山本 加賀 繁
秋田 遠藤 嘉恵
高田 博
藤田 精士
伊藤 達男
平野 信治
佐藤 清一
佐藤 操子

秋田 手塚 圭子
富岡 洋子
蛭川 秀紀
本莊由利 高橋 信夫
大曲仙北 佐藤 宏明
横手 北村 孝治
湯沢雄勝 佐藤長右衛門
県直属 最上 健造
監査委員 秋田 佐藤 昭

秋田 佐藤 孝一
理事(支部推薦)
大館鹿角 浅石 重美
鷹巣阿仁 藤田 久則
能代山本 松山 正一
秋田 伊藤記久夫
由利本莊 佐藤ミツ子・新
大曲仙北 村上 次郎
横手 相川 修二・新
湯沢雄勝 沼倉 貞夫・新
任務分担 (※8・1現在)
会長 最上 健造
副会長 遠藤 嘉恵
佐藤長右衛門
高田 博
事務局次長相川 修二・新
伊藤 達男
事務局員 平野 信治
石井 進
佐藤 清一
佐藤 操子
佐藤ミツ子・新
手塚 圭子
富岡 洋子

名誉会長 近江谷昭二郎
相談役(新設) 鈴木 甚郎

新入会員紹介

入会を心から歓迎します。

山内 笑子 さん(秋田支部)



おくやみ

謹んでご冥福

お祈りいたします

横山 孝一 さん (100歳)

横手支部 7月14日ご逝去



「国民監視と弾圧許すな!」 「土地利用規制法」の学習会を行う

▲「土地利用規制法案」の資料をもとにした学習会の様子

国会最終日6月16日未明、「土地利用規制法」が参院本会議で採決されました。コロナ禍にあつて、国民の多くに中身を知らせず、十分な審議もせず、採決を強行しました。また菅政権の強権です。

わが能代山本支部は、7月9日「土地利用規制法」(正式名称「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律」)の緊急学習会を開きました。

この法律は、自衛隊基地や原発など重要施設の周辺などを「監視区域」とし、土地所有者や利用状況に関する調査、「機能を阻害する行為」に対する中止勧告・命令を可能にするものです。

各界から私権制限や恣意的運用懸念する声があがって

能代山本支部

加賀 繁

ます。戦時中は、写真の背景に軍事施設が写っているという理由で弾圧した現代版「要塞地帯法」ともいふべき危険な法律です。

学習会の講師は、支部前でやろうと支部事務局(県理事)の松山正一さんが担当しました。松山さんは法文や、反対声明、地図付きの新聞記事など、わかりやすききれいな資料を提供しました。



「再録」シリーズ⑤
県版「不屈」No.10(1992年3月)より

語り継ぐ不屈の歴史を

治安維持法大弾圧三・一五事件

秋田県の共産党組織確立者たちの検挙

全国いつ
大弾圧

治安維持法が全国規模で、狂暴な牙を現したのは共産党への大弾圧三・一五事件からである。日本共産党は、一九二八年二月の普通選挙法による第一回総選挙に非合法のもとで十一人の党員を労働農民党から立候補させて闘った。この選挙で労働農民党などの無産政党は四九万票(四・七%)を獲得し八人の議員を当選させた。

一九二八年三月十五日、総選挙を通じて国民の前にその存在を現した日本共産党の前進に恐れた天皇制政府は、日本共産党に対して

秋田県の共産党組織は、一九二八年二月、棚橋貞雄を責任者にして佐藤謙蔵、平山忠尚らによって確立された。秋田県では一九二六年に全日本無産青年同盟が三浦雷太郎らで、労働農民党が棚橋貞雄、近江谷友治

をくわえ、野坂参三らの幹部をはじめ千六百人以上におよぶ共産党員と支持者を検挙し、言語に絶する残忍な拷問をくわえた。続いて政府は、四月十日に日本労働組合評議会、労働農民党、全日本無産青年同盟の三団体の解散を命じた。

らによって組織されていた。共産党組織は第一回総選挙で一區畠山松治郎、二区沢田松太郎の労働農民党の候補を推薦して闘った。

治安維持法による大弾圧は確立されたばかりの党組織をも襲った。三月十五日未明、秋田市亀ノ丁本新町一の労働農民党秋田支部外八ヶ所が搜索され、棚橋貞雄、佐藤謙蔵、平山忠尚が検挙・起訴され有罪となった。

この大弾圧は日本帝国主義が中国への侵略戦争強行のために、侵略戦争反対、自由・民主主義の旗をかかげ、不屈に闘う日本共産党の圧殺を狙ったものであった。天皇制政府は、この三・一五事件後、治安維持法を大改悪し、これまでの最高刑懲役十年を死刑・無期懲役に引きあげた。しかし、日本共産党は、検挙をまぬがれた渡辺政之輔、市川正

一の指導のもと党組織再建が全国的に展開され、「赤旗」の再刊も闘いとられた。党再建の活動は秋田県でも果敢にすすめられ党細胞(支部)が工場・農村へと建設された。

天皇制政府は、一九二九年四月十六日、日本共産党にふたたび大弾圧をくわえた。いわゆる治安維持法大弾圧四・一六事件である。四・一六事件については「不屈」十一号で紹介予定。

※(○)は近江谷昭二郎の頭文字

《三・一五事件判決》

棚橋貞雄 懲役三年(求刑七年)

佐藤謙蔵 懲役二年五年間執行猶予

平山忠尚 懲役三年五年間執行猶予

昭和七年十月二十九日に判決

※「秋田県警察史」下巻より

▼たぬきじる



▶鹿島組



番外編

「花岡事件」も訪ねる

「不屈」編集担当 相川修二

小林多喜二生誕の地を訪れた際に花岡事件関係の場所も案内していただいた。その一つ「大館郷土誌博物館」の展示物に衝撃を受けたものがあつたので紹介したい。それは滝平二郎の版画だ。

彼の作品はあまりにも有名でそのモチーフは昭和初期の童の様々な姿が多い。郷愁を呼び、日本中に数多くのファンがいる。

滝平二郎は、昭和26年に横手市で一カ月ほど滞在制作をしていた。そしてその間に、『八郎』を共に生み出した作家・斎藤隆介に出会った。したがって秋田・横手には特別の想いを持っていた。

私もそのファンの一人である。そんな滝平二郎の作



▲中国の人がたどうして花岡サきたか

品が全く飾り気のない、しかも生々しい版画がそこにあつた。これはほんの一部だが、後に最上会長から「花岡ものがたり」（木刻

連環画集）無明舎出版をお借りしたので紹介したい。同盟員の皆さんはこの事件については詳しく知っている方が多くいらつしやると思います。私自身は、ニュース等で聞き知っている程度しか知らなかつた。

掲載した版画の説明は、私のようなものがするまでもないし、ただ観てもらうだけですべてを表している。※なおこの版画集には55枚の版画が収録されている。◀七ツ館の落盤



8・15
終戦記念日

不戦の誓い新たに「戦争する国づくりストップを」



開の神宮外苑「学徒出陣壮行会」(1943年10月21日)
[http://www.5a.biglobe.ne.jp/~t-senoo/Sensou/gakuto/
sub_gakuto.html]より



新宿駅で核兵器禁止条約発効を記念し、政府に批准を求める宣伝行動(赤松孝四郎提供)

コロナ危機打開、いのちを守る政治を

新型コロナ感染症対策を 最優先にした政治を

コロナ感染症が急拡大するなか、多くの国民と専門家の中止の声を聞かずオリンピック・パラリンピックを強行しました。感染が2年目に

入っても収束を見通せないどころか、ワクチン手配も頓挫。ワクチン接種とPCR検査をセットで行ない、感染を抑え込むべきです。

核兵器禁止条約が発効。 戦争被爆国日本は直ちに批准を

核兵器禁止条約は国連総会で採択され、今年1月22日に発効しました。唯一の戦争被爆国である日本では、広島や長崎をはじめ多くの国民

の願いに反して日米同盟を優先し、批准に背を向けたままです。1日も早く批准するよう政府に迫っていきましよう。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟とは

戦前、戦争に反対し平和と民主主義を求める多くの人々が治安維持法で弾圧され、警察、刑務所などで虐待された人や獄死者は500人以上です。政府は犠牲者へ一切謝罪も賠償もしていません。私たちは、不戦の誓いをあらたに、ふたたび戦争と暗黒政治を許さないというとりくみをすすめて、治安維持法犠牲者の名誉回復と国家賠償を求めています。貴方もぜひ入会して運動にご参加ください。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部

〒113-0034 東京都文京区湯島2-14-4 平和と労働センター・全労連会館内
E-mail: chian@bz03.jp, alao.jp
TEL: 03-5842-6461 FAX: 03-5842-6462

8月15日は、当時の天皇制政府がボツダム宣言を受諾して連合国に無条件降伏した日です。また今年は日本国民310万人、アジア・太平洋各国で2000万人以上の犠牲者を出した「15年戦争」の終戦から76年です。

憲法9条は、「一度と戦争をしないと誓いました。しかし、自民党政府は、秘密保護法、安保法制、戦争法、「共謀罪法」、土地規制法と「戦争する国づくり」の道を突き進んでいます。菅首相は「改憲の機運が確実に高まっている」と9条改憲を狙って、「改正国民投票法」をくり押ししました。

市民と野党の共同で政権交代を

東京都議会議員選挙は、コロナ禍のもとの五輪開催の可否が争われました。自民・公明両党は自ら掲げた過半数(64議席)に及ばず大敗北しました。立憲

民主党と日本共産党は定数1、2人区と3人区の一部で候補者調整を行い、一本化した12人(日民など7人、共産5人)が当選しました。野党が共同し立憲野

党が前進しました。今秋までに行われる総選挙で「市民と野党の共同」で政権交代を実現させ、憲法をいかに政治をすすめるましよう。

増補新版

時代の証言者 伊藤千代子



藤田 廣登 著

渾身の研究ノート——映画化決定！

100年前、権力に抗して
声をあげた少女がいた^{おとめ}

学習の友社

イージス・アショアは

いらね〜!



ごしゃぐ(怒る)
ナマハゲ!

市民運動の足跡 佐々木 勇 進

イージス・アショア配備予定地として、
2年半翻弄された勝平地区住民の苦悩!

国を守るとは?

名もなき人たちの叫び!

イズミヤ出版

定価: 1,430円 [税込み]